

年頭のごあいさつ

越生町長 新井 雄 啓



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい平成30年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町政発展のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、2月の町長選挙では、無投票での信任をいただき、引き続き越生町長として町政運営の舵取りを担わせていただくことになりました。二期目の町政運営では、さらなる活力のある越生町の実現のため、「教育と子育てのまちの推進」「産業の振興と活性化の推進」「安全・安心・住みよいまちづくり」「人を活かし人が活きるまち」を柱として、各種施策を進めていく考えてございます。

教育・子育ての面では、子育て世代包括支援センターの開設や子ども大学を開講いたしました。交通施策といたしましては、高齢者や自動車運転免許の返納者などに、タクシーや公共バス利用料金の助成として利

用券の交付を開始いたしました。観光・産業施策といたしましては、五大尊つつじ公園内に「鈴木金兵衛の札所巡拝碑」が完成し、文化的・歴史的な観光名所となるよう整備いたしました。また、自然休養村センターを、地方創生拠点整備交付金を活用して改修工事を行ったことを機に、愛称を「うめその 梅の駅」といたしましたので、親しみをもってご利用いただけるものと思います。

他市町村との連携事業としては、初めて朝霞市との相互交流に係る覚書を交わし、スポーツ少年団の交流やツツジの記念植樹祭、各種イベントにPRブースの出展などで本格的な交流が始まりました。

本年は、いよいよ1月から越生駅東口開設に伴う工事が始まります。駅を利用する方の利便性が大きく向上するほか、駅の東西を結ぶ自由通路を整備することで、町民の皆様やハイキングなどで町を訪れる方にとって東西の行き来がしやすくなり、中心市街地の活性化にもつながるも

のでございます。近隣住民の皆様や駅を利用する皆様には、当面の間ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

さらに、小学校では外国人講師による英語の学習時間を増やすなど、教育内容の充実を図ります。また、自然豊かな越生町で安心して子育てができる環境づくりのために、子育て世代包括支援センター事業の充実を図り、子育て世代の一層のサポートを推進してまいります。

少子高齢化や人口流出に伴う人口減少は、町が抱える喫緊の課題です。そうした現状を打開し、「住んでよし、訪れてよし」の魅力あふれるまちの構築のため、職員一丸となって取り組んでまいります。町民の皆様には引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様にとりまして、本年が幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。



第12回全国学校給食甲子園で 越生町の学校給食が日本一に！



①優勝した献立、②大会当日の調理の様子、③優勝旗を持つ小林さん、優勝カップを持つ三好さん（大会当日）、④12月6日に上田県知事に優勝報告

写真提供：全国学校給食甲子園®

県内初！2025校の頂点に！

地元の食材を利用し、特色を活かした献立で競う「全国学校給食甲子園」。12月2・3日に開催された第12回大会で、越生小学校が2025校の頂点に輝きました。越生町の給食はすべて同じ献立で、同じ調理方法なので、越生町の小・中学校全体で獲得した賞ということになります。

今月号では、優勝した給食をカラーで紹介！また、大会に出場した小林さん（栄養教諭）と三好さん（調理員）に優勝インタビューを、普段給食を食べている子どもたちに話を聞きました。

給食を通じてもっと越生町のことを好きになってもらいたい（小林さん）

「子どもたちには、学校給食を通じて越生町の特産品や自然を知ってもらいたいです」と話す小林さん。越生小学校に赴任してすぐに梅やゆずを使った給食づくりに取り組み、2年目にして今回の快挙を成し遂げました。

「梅やゆずは、子どもたちが好んで食べるものではないので、給食に取り入れるのは難しかったです。また、食物アレルギーを持つ子どもでも食べられるよう、食材にも気を使いました。とても大変でしたが、「みんなに喜んで食

べてもらいたい」、「地元の特産品を知ってほしい」という思いで取り組み、大きな結果に結びついたので、やってよかったと感じています。今後も特産品を使った給食を継続して提供し、子どもたちの成長に貢献していけたらと思います」。

優勝を励みに子どもたちに喜ばれる給食を作り続けたい（三好さん）

三好さんは、小林さんの考えた献立を学校給食として児童に提供する調理員のチーフ。「小林先生の献立は、子どもたちに地元の食材を食べてもらいたいという気持ちがひしひしと伝わってきます。ごはんやハンバーグにひと手間加えてさらにおいしくするのは難しいですが、自身の成長に繋がり、面白さもあるのでやりがいがあります。これからも越生町ならではのおいしい給食を子どもたちに届けられるように頑張ります」。

